



2021年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 平井 伸太郎

TEL 054-288-8899

定時株主総会開催予定日 2021年9月28日

配当支払開始予定日

2021年9月29日

有価証券報告書提出予定日 2021年9月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期の連結業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	27,294	14.9	1,247	37.4	1,381	32.7	864	32.4
2020年6月期	32,060	6.1	1,992	8.4	2,052	8.9	1,279	8.0

(注) 包括利益 2021年6月期 966百万円 (26.2%) 2020年6月期 1,308百万円 (8.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	214.94		6.6	5.7	4.6
2020年6月期	317.97		10.4	8.6	6.2

(参考) 持分法投資損益 2021年6月期 百万円 2020年6月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	24,049	14,111	56.1	3,349.75
2020年6月期	24,178	13,374	52.8	3,175.06

(参考) 自己資本 2021年6月期 13,480百万円 2020年6月期 12,777百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	1,875	155	47	6,287
2020年6月期	2,283	139	245	4,613

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期		0.00		55.00	55.00	221	17.3	1.8
2021年6月期		0.00		55.00	55.00	221	25.6	1.7
2022年6月期(予想)		0.00		55.00	55.00		17.0	

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,100	17.6	2,000	60.3	2,100	52.1	1,300	50.3	323.04

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期	4,369,200 株	2020年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	2021年6月期	344,954 株	2020年6月期	344,799 株
期中平均株式数	2021年6月期	4,024,366 株	2020年6月期	4,024,353 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年6月期の個別業績(2020年7月1日～2021年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	16,482	16.0	871	27.3	1,152	15.1	808	14.7
2020年6月期	19,612	3.5	1,197	11.3	1,357	11.4	947	9.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期	201.02	
2020年6月期	235.53	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2021年6月期	17,841		9,972		55.9	2,478.16		
2020年6月期	18,449		9,372		50.8	2,328.96		

(参考) 自己資本 2021年6月期 9,972百万円 2020年6月期 9,372百万円

2. 2022年6月期の個別業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	21.3	1,360	18.1	950	17.4	236.07

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外での経済活動が依然として大きく制限を受け、これに加え米中貿易摩擦による影響や英国のEU離脱問題、世界的な半導体の供給不足が各国経済に大きな影響を与えており、より多くの不確実性を抱えたまま景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループとしましては、経営基本方針としている「One Stop Shopping」施策を継続して推し進め、受注範囲の拡大及び収益性の向上を目指し、新たなビジネスモデル構築に尽力して参りました。人手不足が深刻化する環境下での省力化投資によるロボット需要の拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、当社グループには強い追い風が吹いております。当連結会計年度後半では大手企業の設備投資に復調の兆しが見えて参りましたが、これに北米を襲った寒波に起因する樹脂不足と半導体の供給不足が水を差し、設備投資需要に供給が追いついていけないといった状況に陥っております。

国内外のお客様におかれましては、生産量そのものはコロナ前の水準まで回復しており、今後中長期的には新規の設備投資・研究開発投資が順調に拡大していくものと思われまます。設備・研究開発投資依存型のビジネスモデルである当社グループの業績は、短期的な変動要因はあるものの多少の時差を伴って拡大期を迎えるものと予想しております。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は272億94百万円（前期比14.9%の減）となり、損益面としましては営業利益が12億47百万円（同37.4%の減）、経常利益が13億81百万円（同32.7%の減）、親会社株主に帰属する当期純利益が8億64百万円（同32.4%の減）となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

(インテリジェントFAシステム事業)

インテリジェントFAシステム事業では、引き続き各種検査装置が好調だったこと、ロボット関連事業の拡大もあり中盤から比較的順調に推移し利益率の改善も見られておりましたが、上半期の低調な推移と合わせ、終盤の半導体の供給不足等が影響し、売上高は99億74百万円（前期比13.8%の減）、営業利益は6億78百万円（同41.4%の減）と減収・減益になりました。

(IT制御・科学測定事業)

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向があります。一方、当事業の中でも科学測定分野は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当連結会計年度においては、顧客の研究開発投資は依然として旺盛であり大きく復調が見られたものの、当事業に占める割合の大きい生産設備への投資については、復調傾向ではあるものの、この回復が当初の予測より時期的に遅かったことや経済環境によって規模的にも予想を下回る水準での推移となりました。これらの結果、売上高は172億88百万円（前期比15.5%の減）、営業利益は8億6百万円（同28.9%の減）と減収・減益になりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少し、240億49百万円となりました。これは主として現金及び預金が16億74百万円増加した一方、受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が19億70百万円減少したこと等によるものであります。

負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ8億66百万円減少し、99億37百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が7億86百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ7億37百万円増加し、141億11百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する当期純利益等により利益剰余金が6億43百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により得られた資金の合計額が投資活動及び財務活動により支出された資金を上回ったため、前連結会計年度末に比べ16億74百万円増加し、62億87百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、18億75百万円（前期は22億83百万円の収入）となりました。これは主として仕入債務の減少額が7億86百万円と法人税等の支払額が6億58百万円あった一方、売上債権の減少額が19億70百万円と税金等調整前当期純利益が13億38百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、1億55百万円（前期は1億39百万円の支出）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が1億1百万円と無形固定資産の取得による支出が50百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、47百万円（前期は2億45百万円の支出）となりました。これは主として長期借入れによる収入が1億80百万円あった一方、配当金の支払額が2億19百万円あったこと等によるものであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期
自己資本比率	46.9	48.2	50.5	52.8	56.1
時価ベースの自己資本比率	41.0	45.8	41.7	34.5	35.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	194.5	405.0	112.7	74.4	100.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	83.2	59.8	268.8	524.3	527.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注）1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は自己株式を除く期末発行済株式総数をベースに計算しております。

3 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業キャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内外の新型コロナウイルス感染症の収束状況、ビジネスにおける新様式の定着度合等、様々な要因により世界経済への大きな影響があるものと考えております。さらに、米中貿易摩擦や半導体の供給不足等、国内外の経済環境は不透明感が拭えない厳しい状況が続くものと予想されます。

斯様な状況下、中期的な視点では従来から継続している省力化投資の流れが更に加速していくと考えております。将来に渡る労働力不足に加え、新型コロナウイルス感染症対策等による人の往来が制約を受ける中、特に生産現場での労働力不足はさらに深刻になっていくものと考えられます。また、将来への同種の課題に対しても対策を講じていく必要があるといった認識が定着しており、こういった課題に対し生産活動を継続していくことを目的とした省力・省人化投資への需要は、従来以上に新たな形・場所で益々増えていくものと考えております。

これらに加えて、CASE・EVに代表される輸送機業界における研究開発投資は再び勢いを回復し、前年度に比して別世界の様相を呈しております。

更にAIとロボットのコラボによるロボット作業範囲の拡大と高度化、IoTの普及拡大からその活用範囲の深耕等、新たなイノベーションが生まれる中、システムの高度化・効率化等が引き続き革命的に進行しております。これらの多くは、当社グループのビジネスエリアの中核部分で起きており、当社グループにとっては技術革新とその進行によって新規ビジネスが創造されるという非常に有利な追い風が吹いています。

このような環境下、当社グループは経営諸施策を着実に実行し、業績の向上と企業価値増大に努めるとともに、事業を通じ社会貢献にも取り組んで参ります。

次期の連結業績に見通しにつきましては、売上高は前期比17.6%増の321億円を予想しており、営業利益は60.3%増の20億円、経常利益は52.1%増の21億円、親会社株主に帰属する当期純利益は50.3%増の13億円を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主への利益配分に関しましては、長期的な視野に立ち安定的且つ継続的な配当とその増加を重視するとともに、配当性向をも重視した適正な利益配分の継続を基本としております。また内部留保につきましても適正な水準での充実を図り、新製品の開発・新技術の研究の他、海外も含めた事業拡大へ向けた戦略的投資に対して積極的に投資し、企業価値の増大によって株主への還元を図る所存であります。

2021年6月期の配当に関しましては、株主の皆様へのより多くの還元を図るべく、当期末は普通配当1株当たり55円とすることを2021年9月下旬に予定している第63回定時株主総会にご提案申し上げる予定でおります。

また、次期の配当につきましても、上記の方針に基づき1株当たり55円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間での比較可能性を確保するため、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,613,612	6,287,688
受取手形及び売掛金	8,517,149	6,829,069
電子記録債権	2,174,216	1,891,413
商品及び製品	322,914	360,753
仕掛品	391,026	488,121
原材料	473,533	478,500
短期貸付金	58,762	109,873
その他	169,611	110,758
貸倒引当金	△52,787	△15,455
流動資産合計	16,668,038	16,540,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	825,011	775,251
車両運搬具(純額)	79,349	67,402
土地	3,932,360	3,925,130
その他(純額)	167,624	151,611
有形固定資産合計	5,004,345	4,919,395
無形固定資産	109,897	129,576
投資その他の資産		
投資有価証券	1,537,342	1,588,273
長期貸付金	180,357	158,498
繰延税金資産	308,489	325,052
その他	704,486	739,395
貸倒引当金	△334,672	△351,530
投資その他の資産合計	2,396,003	2,459,689
固定資産合計	7,510,246	7,508,661
資産合計	24,178,285	24,049,386
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,678,336	5,062,926
電子記録債務	1,617,916	1,447,010
未払法人税等	324,777	175,907
未払消費税等	185,741	55,476
賞与引当金	171,661	156,381
役員賞与引当金	44,200	35,700
その他	576,773	591,300
流動負債合計	8,599,405	7,524,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
固定負債		
長期借入金	1,700,000	1,880,000
退職給付に係る負債	401,804	430,478
繰延税金負債	35,471	52,874
その他	67,384	49,444
固定負債合計	2,204,660	2,412,797
負債合計	10,804,065	9,937,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,124	1,872,124
利益剰余金	9,749,075	10,392,729
自己株式	△424,528	△424,862
株主資本合計	12,638,111	13,281,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,230	207,108
退職給付に係る調整累計額	△7,617	△8,305
その他の包括利益累計額合計	139,613	198,802
非支配株主持分	596,494	631,651
純資産合計	13,374,219	14,111,885
負債純資産合計	24,178,285	24,049,386

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	32,060,626	27,294,211
売上原価	26,136,128	22,214,540
売上総利益	5,924,498	5,079,671
販売費及び一般管理費	3,932,075	3,832,031
営業利益	1,992,422	1,247,639
営業外収益		
受取利息	3,404	3,038
受取配当金	27,510	28,103
仕入割引	35,462	27,660
為替差益	4,411	4,656
貸倒引当金戻入額	-	23,521
解約精算金	-	20,250
助成金収入	1,281	15,686
雑収入	16,499	20,182
営業外収益合計	88,571	143,099
営業外費用		
支払利息	4,355	3,555
手形売却損	418	-
売上割引	3,749	3,619
貸倒引当金繰入額	18,440	-
雑損失	2,006	2,547
営業外費用合計	28,969	9,722
経常利益	2,052,023	1,381,016
特別利益		
固定資産売却益	158	110
投資有価証券売却益	2,136	24,289
保険解約返戻金	4,797	-
特別利益合計	7,092	24,400
特別損失		
固定資産除却損	523	20
固定資産売却損	151	-
投資有価証券評価損	35,000	43,780
ゴルフ会員権評価損	175	-
減損損失	-	22,903
特別損失合計	35,850	66,705
税金等調整前当期純利益	2,023,265	1,338,711
法人税、住民税及び事業税	680,673	469,547
法人税等調整額	△8,683	△28,430
法人税等合計	671,989	441,116
当期純利益	1,351,276	897,595
非支配株主に帰属する当期純利益	71,632	32,599
親会社株主に帰属する当期純利益	1,279,643	864,995

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	1,351,276	897,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,099	69,204
退職給付に係る調整額	△7,617	△688
その他の包括利益合計	△42,716	68,516
包括利益	1,308,559	966,111
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,223,558	924,184
非支配株主に係る包括利益	85,001	41,926

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整累 計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,441,440	1,872,079	8,710,895	△424,422	11,599,991	195,699	-	195,699	516,123	12,311,814
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	△241,462	-	△241,462	-	-	-	-	△241,462
親会社株主に帰属 する当期純利益	-	-	1,279,643	-	1,279,643	-	-	-	-	1,279,643
自己株式の取得	-	-	-	△278	△278	-	-	-	-	△278
自己株式の処分	-	44	-	172	217	-	-	-	-	217
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-	△48,468	△7,617	△56,085	80,371	24,286
当期変動額合計	-	44	1,038,180	△106	1,038,119	△48,468	△7,617	△56,085	80,371	1,062,405
当期末残高	1,441,440	1,872,124	9,749,075	△424,528	12,638,111	147,230	△7,617	139,613	596,494	13,374,219

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付に 係る調整累 計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,441,440	1,872,124	9,749,075	△424,528	12,638,111	147,230	△7,617	139,613	596,494	13,374,219
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	△221,342	-	△221,342	-	-	-	-	△221,342
親会社株主に帰属 する当期純利益	-	-	864,995	-	864,995	-	-	-	-	864,995
自己株式の取得	-	-	-	△333	△333	-	-	-	-	△333
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-	59,877	△688	59,189	35,156	94,345
当期変動額合計	-	-	643,653	△333	643,320	59,877	△688	59,189	35,156	737,666
当期末残高	1,441,440	1,872,124	10,392,729	△424,862	13,281,431	207,108	△8,305	198,802	631,651	14,111,885

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,023,265	1,338,711
減価償却費	183,786	181,346
減損損失	-	22,903
為替差損益(△は益)	718	△867
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21,374	△20,473
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,305	△15,280
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	3,900	△8,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,752	27,693
受取利息及び受取配当金	△30,915	△31,141
支払利息	4,355	3,555
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	△110
有形及び無形固定資産除却損	523	20
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,136	△24,289
投資有価証券評価損益(△は益)	35,000	43,780
売上債権の増減額(△は増加)	852,274	1,970,882
たな卸資産の増減額(△は増加)	67,161	△139,902
仕入債務の増減額(△は減少)	△280,450	△786,316
その他	97,221	△56,002
小計	3,006,129	2,506,010
利息及び配当金の受取額	31,225	31,698
利息の支払額	△4,355	△3,555
法人税等の支払額	△749,549	△658,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,283,449	1,875,718
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△100,345	△101,916
有形固定資産の売却による収入	401	242
無形固定資産の取得による支出	△38,545	△50,891
出資金の払込による支出	△2,000	△2,000
投資有価証券の取得による支出	△17,343	△18,106
投資有価証券の売却による収入	6,439	46,452
貸付けによる支出	△40,000	△165,694
貸付金の回収による収入	51,948	136,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,445	△155,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△600,000	-
自己株式の取得による支出	△278	△333
自己株式の売却による収入	217	-
配当金の支払額	△241,030	△219,933
非支配株主への配当金の支払額	△4,630	△6,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,722	△47,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	460
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,898,253	1,674,076
現金及び現金同等物の期首残高	2,715,358	4,613,612
現金及び現金同等物の期末残高	4,613,612	6,287,688

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済や企業活動に広範囲で影響を与える事象であり、現時点で当社グループに及ぼす影響及び感染症の収束時期を予測することは困難であります。翌連結会計年度(2022年6月期)の一定期間にわたり当感染症の影響が継続するという一定の仮定に基づき、当連結会計年度(2021年6月期)の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主としてITとFAの融合領域ともいべきインテリジェントFAシステムビジネスを事業の中核としており、製造現場、研究開発部門、品質管理部門等で必要とする機器を開発、さらにシステム化し、製造業を主とした顧客に対して高次元における最適ソリューションプロバイダーになることを目指しております。

当社グループは、提供する製品・サービスの特性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「インテリジェントFAシステム事業」、「IT制御・科学測定事業」の2つを報告セグメントとしております。

即ち、主として製造業の研究開発や生産現場に必要な各種機器を開発し或いはネットワーク化しITシステムにより自動制御する技術の中核として開発された製品・システム類等に関連するビジネス分野を「インテリジェントFAシステム事業」としており、その関連製品である計測器、科学センサー、科学分析等を行う各種機器類に関連するビジネス分野を「IT制御・科学測定事業」としております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	インテリジェント FAシステム事業	IT制御・科学 測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,569,471	20,450,185	32,019,657	40,969	32,060,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	426,880	443,931	870,812	73,595	944,407
計	11,996,352	20,894,116	32,890,469	114,564	33,005,034
セグメント利益	1,157,943	1,134,387	2,292,330	99,511	2,391,841
セグメント資産	9,034,640	7,812,805	16,847,445	742,669	17,590,115
その他の項目					
減価償却費	113,825	47,530	161,355	8,350	169,706
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	98,111	40,669	138,781	—	138,781

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	インテリジェント FAシステム事業	IT制御・科学 測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,974,073	17,288,967	27,263,041	31,170	27,294,211
セグメント間の内部 売上高又は振替高	239,263	316,685	555,948	76,813	632,762
計	10,213,337	17,605,652	27,818,990	107,984	27,926,974
セグメント利益	678,801	806,015	1,484,817	95,314	1,580,131
セグメント資産	7,979,121	6,892,393	14,871,514	717,400	15,588,915
その他の項目					
減価償却費	109,750	49,629	159,379	8,331	167,711
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	59,171	45,701	104,873	—	104,873

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	32,890,469	27,818,990
「その他」の区分の売上高	114,564	107,984
セグメント間取引消去	△944,407	△632,762
連結財務諸表の売上高	32,060,626	27,294,211

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,292,330	1,484,817
「その他」の区分の利益	99,511	95,314
全社費用	△399,419	△332,492
連結財務諸表の営業利益	1,992,422	1,247,639

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,847,445	14,871,514
「その他」の区分の資産	742,669	717,400
全社資産	6,588,170	8,460,471
連結財務諸表の資産合計	24,178,285	24,049,386

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余剰運用資金（現金及び有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	161,355	159,379	8,350	8,331	14,080	13,635	183,786	181,346
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	138,781	104,873	—	—	17,680	22,661	156,462	127,534

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に総務部門等管理部門に係る費用及び投資であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計			
減損損失	—	—	—	22,903	—	22,903

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	3,175円06銭	3,349円75銭
1株当たり当期純利益	317円97銭	214円94銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	13,374,219	14,111,885
純資産の部の合計額から控除する金額(千円) (うち非支配株主持分)	596,494 (596,494)	631,651 (631,651)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,777,724	13,480,234
普通株式の発行済株式数(株)	4,369,200	4,369,200
普通株式の自己株式数(株)	344,799	344,954
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	4,024,401	4,024,246

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,279,643	864,995
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,279,643	864,995
期中平均株式数(株)	4,024,353	4,024,366

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動

新任取締役候補者 小島 基治

就任予定日 2021年9月28日

新任取締役候補者 新井 由朗

就任予定日 2021年9月28日

新任取締役候補者 平井 伸太郎

就任予定日 2021年9月28日

新任取締役候補者 望月 誠

就任予定日 2021年9月28日

退任予定取締役 望月 国雄

退任予定日 2021年9月28日